

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 行政情報課

施策名	45 行政事務DX
政策名	持続可能な行財政運営を行う
施策がめざす 将来の姿	・ I C Tの活用により行政事務の効率化が進んでいます。

2 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標		
RPA導入による 事務時間の削減	時間	566	1,000		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	723				

成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標		
ICT機器・サービス導入の検討件数	件	46	100		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	61				

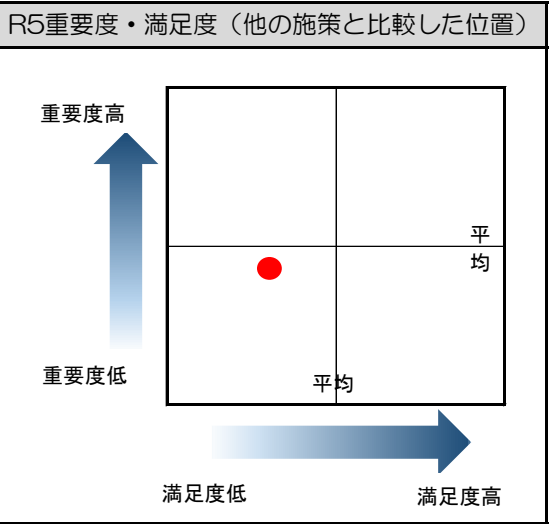
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標		
データ分析の活用 数	件	0	250		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	72				

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（％）
令和5年度
98.1

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和4年度		令和5年度
87.8		86.0

※増減（→）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

市民満足度がやや低いのは、市民に向けたICTサービスの導入が遅れている点が考えられます。ICT機器・サービス導入の検討件数を伸ばし、検討から導入に結びつけることで、市民サービスの充実を図っていきます。 また、データ分析の活用数を積み上げていくことで、根拠に基づく施策評価や新規事業の採択を浸透させ、市の財政資源、人的資源の選択と集中の判断に繋がります。
